

## 5. おわりに

室蘭港長期構想の施策・取組内容等は代表的なものを記載しており、記載されていない施策・取組等についても状況の変化に応じて臨機応変に対応を行います。

今後は今回策定した室蘭港長期構想の施策実現に向けて取組を進めて参ります。

室蘭港長期構想は室蘭市ホームページでご覧頂けます。

<https://www.city.muroran.lg.jp/main/org8120/kouwankeikaku.html>

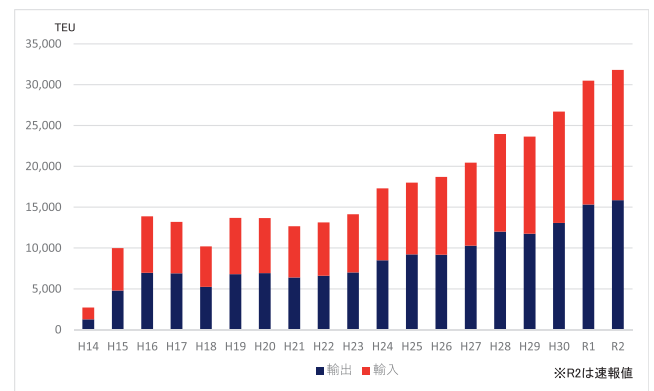
# 釧路港に外貿コンテナ新規航路開設

釧路市 水産港湾空港部 港湾空港課

## 1. 釧路港の外貿コンテナ

釧路港における外貿コンテナ航路は、平成14年8月南星海運株式会社による釜山～釧路間週1便の定期船が就航し、以降順調に貨物量が増え、令和元年のコンテナ取扱量は30,486TEU(※速報値 令和2年：31,813TEU)と過去最高を記録しています。

外貿コンテナヤードは、当初西港区第4埠頭に設置しタイヤマウント型ダブルリンク式ジブクレーンで荷役していましたが、コンテナ取扱量の増加に対応するため、平成21年9月西港区第3埠頭にガントリークレーン及びコンテナヤードを整備・移転、令和2年1月にはコンテナヤードを拡張するなど、必要な施設整備を行ってきました。



釧路港外貿コンテナ取扱貨物量推移



外貿コンテナヤード全景

## 2. 新規航路開設

令和2年11月17日(火)、新たな外貿コンテナ航路が開設しました。航路は釜山港→苫小牧港→釧路港→石狩湾新港→釜山港→釜山新港で、釧路港には毎週土曜日の寄港となっています。運航会社は韓国の長錦商船株式会社と興亜LINE 株式会社との共同配船、日本総代理店は株式会社シノコー成本、地元代理店は北海運輸株式会社です。

今回の航路開設により、週3便(月・水・金)の運航が週4便となり、サービスの向上により物流事業が活性化し、地域の経済発展に大きく貢献してくれるものと期待しています。



ガントリークレーン荷役状況

## 3. 航路開設記念セミナー

この航路開設を記念して、令和2年11月27日(金)釧路市役所でセミナーを開催しました。式典には株式会社シノコー成本の金周澤社長、李鐘榮副社長ほか4名の、また北海運輸株式会社からも4名のご出席をいただきました。式典では、釧路市から記念品として蝦名市長より金社長へアイヌ刺繍タペストリー、伴副市長より李副社長へ地酒福司の海底力(そこから)を贈呈し、記念撮影を行った後懇談を行い、蝦名市長からは航路開設に対して感謝の意を伝え、金社長からは「苫小牧港で荷下ろしして東北海道へ陸送していた貨物を、釧路港へ直接降ろすことによるコスト削減や、釧路港外貿コンテナの便数が増えることによるサービス向上、競争力向上につながれば」とのお話がありました。



航路開設 記念セミナー

## 4. 今後の釧路港

今後におきましても、釧路港の国際コンテナターミナルとしての機能や利便性などを広くPRし、釧路港の更なる利用促進を図るとともに、地域を支える物流拠点の役割をしっかりと果たしてまいりたいと考えております。